

01 災害時における応急生活物資の供給等に関する協定

地域に寄り添う企業と安心の協定

3月24日、森町と株式会社サッポロドラッグストア（代表取締役CEO富山浩樹氏）は、災害時における応急生活物資の供給等に関する協定を締結しました。災害発生等の際、同社が食料品や日用品等の供給を支援するもので、ゼネラルマネジャーの飯田和也氏（写真左）は「2002年に开店し、地域に根差した企業として町の安全・安心に貢献できるよう連携してまいります」と話しました。



協定書を手にも、連携を深める飯田GMと岡嶋町長

02 森町子ども芸能発表会～さよならもりまち公民館～

森町公民館最後のステージ

3月29日、老朽化により3月末で閉館した森町公民館で、最後の催し「森町子ども芸能発表会～さよならもりまち公民館～」(主催：森町子ども芸能発表会実行委員会 福地公貴委員長)が開催されました。町内の子どもたちが太鼓やフラダンス、民謡、松前神楽を披露し、会場は温かな拍手に包まれました。長年親しまれてきた公民館は、子どもたちの演技とともに、静かに幕を下ろしました。



心を込めてピアノを演奏する坂本音楽教室の生徒たち

03 外国人技能実習生に対する自転車交通安全講習会

交通ルールを学び安心な暮らしへ

4月12日、砂原公民館前で森警察署が、外国人技能実習生を対象に自転車交通安全講習会を開催。4月から導入された自転車の反則金制度について、実演を交えて分かりやすく周知しました。ヘルメット着用の重要性に加え、携帯電話使用や傘さし、二人乗りなどの違反と反則金額を説明しました。参加者約100人からは道路横断方法や荷物の積み方などの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。



笑いを交えた実演で自転車のルールを教える森警察署員

04 令和7年度電源立地地域対策交付金事業

交付金で支える安心のまちづくり

町では、令和7年度電源立地地域対策交付金を活用して防災車両の整備及び森町立もり保育所・尾白内保育所の保育士の人件費への充当を行いました。

電源立地地域対策交付金事業は水力発電設備等で生じる自然・生活環境への影響緩和事業の一環として行われております。今回の整備等により、平常時のパトロールや有事の際の行動が可能となるほか安心して子育てできる環境の維持に役立てられました。



防災交通課に整備された防災車両